



## 第2章

# ● 松山ロシア人墓地のうつりかわり

● 100780054 西勇一

# 1.忘れられたロシア人墓地

## a) 松山の妙見山

### ア) ロシア人墓地 (98基)

→ 病死によるロシア将兵の墓

### イ) 四国財務局が所管

→ 荒れ放題



b)松山市所在露人墓地の改装

理由:ア)本地が砂岩層

イ)隣接地が工事用土砂を採取  
→墓地が傾斜

ウ)雨期等には早晚崩壊



## 2. 捕虜の最初の墓

a) 日露戦争での捕虜7万9千人

ア) 国内29ヶ所の収容所

→最速での収容が松山

イ) 松山収容所

i) 1904年3月19日日本最初の捕虜

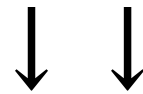
ii) 捕虜の総数6019人



b) 松山のロシア人の墓

ア) 日本で最初にロシア人捕虜の墓

イ) 旧妙見堂の跡地に113坪の墓地



陸軍省が買収



c) 日本国内で最初の死者

日付: **5月16日**

場所: 松山収容所第一病舎

人物: 歩兵上等兵ゲルシク・シトープスキー

d) 葬儀

ア) 入棺もユダヤ式

イ) 妙見山の露人墓地に埋葬



### 3. 大佐の墓になった合葬碑

#### a) 捕虜が松山を退去後

##### ア) 陸軍省が整備

→ 捕虜の宗教による墓標を撤去

##### イ) 細長い墓石に統一

i) 兵士の死亡年月日、階級、氏名  
を刻印



ウ) 墓石は6列

エ) 南の角には合葬碑

ア) 捕虜達が資金を収集し建設

イ) 氏名、死亡年月日が22名分

ウ) 98名の病没将兵の合同記名碑

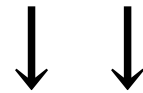




## b) 唯一の将校の墓

ア) 慰霊祭をソビエト大使館からロザ  
ノフ一行を招待

イ) 婦人会が合葬碑をボイスマンの  
墓と断定



宇都宮孝平市長が刻印

「ワシリー・ボイスマン大佐の墓」



## 4. 才神時雄とロシア人墓地

### a) 才神の調査の結果

ア) 松山で捕虜を観光客並に優遇

イ) 才神は厳寒の山奥で家畜以下の応対



## 5. 名著「松山収容所一捕虜と日本人」

### a) 「松山収容露國俘虜」の発見

ア) 1906年2月5日刊行

内容：日本側の驕慢な態度とロシア側への偏見や侮辱



政府が即刻発禁処分



イ) 全部で7編66章402ページ

b) 才神による実証

ア) 才神は全てを鵜呑みにせず実証

例:「食物が粗末」等

c) 結果

1968年7月、6年月日をかけて完成

→「松山収容所一捕虜と日本人」

